

2026. 8. 27 日本代表選手選考規程説明会（抜粋要約）

【選考規程制定の背景】

スポーツ庁「ガバナンスコード」において「代表選手の公平かつ合理的な選考に関する規程」の整備が求められている。

強化・育成体制の整備は、国民スポーツ大会の開催継続に関する評価項目となっている。

⇒日本代表選手の選考基準及び選考手続きを明確化するために、全日弓連理事会において「代表選手選考規程」が制定された。

【代表選手選考制度の全体像】

- I 「代表選手選考委員会」設置：強化選手、代表選手選考を実施
- II 「強化候補選手」を選定：要件を満たした該当選手に通知
- III 「強化選手」を指定：候補選手による選考試合を踏まえて指定
- IV 「代表選手」を決定：強化選手による選考試合等、総合的に勘案して決定

【強化候補選手の要件】（基本要件：連盟会員・選出時満 18 歳以上）

- ① 直前の世界弓道大会代表選手
- ② 全日本勤労者弓道選手権大会：団体 3 位以内の選手の内、的中率上位 2 位以内
- ③ 全日本教職員弓道選手権大会：男子個人、女子個人各 1 位
- ④ 全日本男子弓道選手権大会：3 位以内かつ決勝的中率 9 割以上
- ⑤ 全日本女子弓道選手権大会：3 位以内かつ決勝的中率 9 割以上
- ⑥ 国民スポーツ大会弓道競技会：成年男子、女子それぞれにおいて近的予選皆中者、ならびに近的 3 位以内の選手の内、的中率上位 4 位以内
- ⑦ 東西学生弓道選抜対抗試合：男子女子それぞれにおいて的中率上位 3 位以内
- ⑧ その他強化委員会が推薦する者

【強化選手の概要】

（選考方法）

- 毎年度、強化候補選手を対象に選考試合を実施
- 選考試合の結果を踏まえ、代表選手選考委員会が指定

（主な支援）

- 強化合宿・トレーニング
- 医科学的サポート
- 海外遠征への支援
- 競技環境等に関する支援

【代表選手の概要】

（選考方法）

- 強化選手の中から代表選手選考委員会が選考

（選考にあたり考慮する事項）

- 選考試合の結果、競技力、弓道の理念・資質、派遣大会の目的
⇒ これらを総合的に勘案して決定
- 代表選手数は大会ごとに決定し、必要に応じて補欠選手を選考
（強化選手の認定機関・見直し・遵守事項）
- 認定期間：原則、毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 毎年度、既存選手と新たな候補者を対象に見直し（入替え）
- 人数：次回世界大会参加可能数の原則2倍以内
- 負傷・重大なコンプライアンス違反等の場合は解除・取消の対象
- 取消時は弁明機会・理由通知・スポーツ仲裁の仕組みを整備

【2027 年度 選考から国際大会派遣までの流れ】

- ① 強化候補選手の選定
- ② 強化候補選手名簿の作成・対象者などへの周知（2026 年 12 月）
- ③ 強化選手選考試合（2027 年 3 月 20 - 21 日予定）：東京
- ④ 強化選手決定・発表（2027 年 4 月予定）：10 名前後
- ⑤ 強化活動（2027 年 7 月）：東京での合宿
- ⑥ 強化活動（2027 年 10 月）：第 1 回アジアオセアニア大会事前合宿
- ⑦ 強化活動（2027 年 10 月）：第 1 回アジアオセアニア弓道大会
- ⑧ 強化活動（2028 年 1 月）：東京での合宿
- ⑨ 代表選手選考（派遣大会ごとに実施）
- ⑩ 代表選手決定・国際大会等へ派遣

以上